

対象の方へ

電設健保からご自宅にご案内を送付します

「重症化予防」として、健康診断の結果、腎機能・血圧・血糖・脂質が要治療レベルで医療機関未受診の方へ、ご自宅宛に受診勧奨のご案内「あなたの健康に関する大切なお知らせ」を送付させていただいております。
ご自身の健康を守るためにも、お早めに医療機関を受診してください。



Pick Up / 腎機能



腎機能の低下と生活習慣病はお互いに悪影響を及ぼす!?

腎機能の低下が慢性的につづく病気を「慢性腎臓病(CKD)」といい、その多くは、肥満や喫煙、糖尿病、高血圧などが原因で全身の血管が傷つき、腎臓の毛細血管もダメージを受けることによって起こります。一方で、腎機能の低下は血圧の上昇やLDLコレステロールの合成を促進し、生活習慣病をより悪化させる悪循環を招きます。

腎機能はこの項目をチェック

eGFR [mL/分/1.73m²]

腎臓が血液をろ過する能力を示した値。年齢、性別、血清クレアチニン(老廃物の1種)の値から計算される。

90以上	正常
60~89	腎機能が低下しているかも? →まずは生活習慣改善を
60未満	CKDの疑いあり →医療機関へ



一時的な脱水や激しい運動などが原因のこともあります。病気の疑いもあるため、まずは病院で検査を。

尿たんぱく

本来、からだに吸収されるはずのたんぱく質が、尿に出ていないかどうかを調べる検査。

(-) 陰性	正常
(±) 弱陽性	腎機能が低下しているかも? →まずは生活習慣改善を
(+) 以上 陽性	CKDの疑いあり →医療機関へ



経年変化も確認を。
毎年3[mL/分/1.73m²]以上の速さで数値が下がっていると、CKDのリスクが高まります。

とにかく早期発見・早期治療が大切!

CKDは、重症化するまでほとんど自覚症状がありません。腎機能はある程度まで低下すると元には戻らないため、毎年の健診で確認するとともに、異常を指摘されたらすみやかに医療機関(腎臓内科、内科など)を受診し、早期に対処することが大切です。

「OTC医薬品利用促進通知」もお送りします!

OTC医薬品(市販薬)に切り替え可能な花粉症・アレルギー性疾患のある方へ、ご自宅宛に案内を送付させていただきます。病院に行く手間も、診察料もかかりません。この機会に、ドラッグストア等で購入可能なOTC医薬品(市販薬)をぜひご検討ください。

お知らせ送付に関するお問い合わせ ▶ 健康管理課 健康推進係 TEL 03-3265-0307